

戦争の歴史と記憶

科目コード	2696630
学習センター	島根学習センター
学習センターコード	32A
クラスコード	K
科目名	戦争の歴史と記憶
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	マエダ シホ 前田 しほ (島根大学准教授)
日程 実施時間	2026年11月28日(土)第1時限 09:50～11:20 2026年11月28日(土)第2時限 11:30～13:00 2026年11月28日(土)第3時限 14:00～15:30 2026年11月28日(土)第4時限 15:40～17:10 2026年11月29日(日)第1時限 09:50～11:20 2026年11月29日(日)第2時限 11:30～13:00 2026年11月29日(日)第3時限 14:00～15:30 2026年11月29日(日)第4時限 15:40～16:25 2026年11月29日(日)試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	この授業は、【島根学習センター】で行います。

【授業内容】 この授業は、ウクライナ・ロシア戦争で注目されたウクライナを中心に戦争と歴史、戦争と記憶について学びます。前半ではウクライナの国家成立に至る歴史的経緯を説明します。まず古代に遡り、「世界史」からとりこぼされたウクライナを中心とした地域をユーラシア大陸の文化・社会の折衝地として見直します。草原の道と海の道の交差点では、9世紀になってようやく初の国家が誕生します。このキエフ・ルーシの歴史と滅亡、そして文化的継承を主張するロシア(モスクワ)との関係を解説します。13世紀モンゴルの侵攻により荒廃したウクライナの領域は、周辺に誕生した帝国(ポーランド＝リトアニア王国、オーストリア＝ハンガリー帝国、帝政ロシア、オスマン帝国)の間で、権力の空白地帯、言い換えると緩衝地域となり、様々な宗教・民族の人々が住み、共生したり、支配・服従したり、いさかいを起こしていました。19世紀にロシア帝国の権力が強くなると、ウクライナ民族主義運動が生まれます。第二次世界大戦、そして現在起きているロシア・ウクライナ戦争を理解するためには、このウクライナ民族主義がキー概念となります。後半は、独ソ戦と戦時暴力、そして戦後どのような記憶が選ばれて想起されて、国民統合に利用されていくのか、あるいは忘却したり抑圧して、過去を清算しなかったつけがどのように返ってくるのか学びます。
【到達目標】 ウクライナの歴史を理解し、説明できるようになる。 ウクライナの民族、宗教、文化、社会を学び、説明できるようになる。 ウクライナを事例に記憶研究について学び、説明できるようになる。
【授業テーマ】 第1回ユーラシアの中のウクライナ 第2回キエフ・ルーシの誕生 第3回帝国の狭間のウクライナ 第4回第二次世界大戦と暴力 第5回戦争の想起／忘却 1 第6回戦争の想起／忘却 2 第7回新しい戦争と記憶 第8回まとめ
【学生へのメッセージ】 この授業では残酷な暴力的映像・画像をお見せします。提示する前にこちらから注意をしますので、不快な方、気分が悪くなる方は目をそらすか、退室をしてもらってかまいません。受講する際にこの点をよく検討してください。 テーマごとに、グループワークを10分程度設けます。知識の定着、感想・意見を述べることで、問題点やよくわからない点を明確にする意図で実施します。これは成績評価には反映しません。
【受講前の準備学習等】 事前に下記の図書のうち一冊を読んでください。 ・黒川祐次「物語 ウクライナの歴史」(中公新書1655) ・黛秋津編「講義 ウクライナの歴史」(山川出版社)
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
【受講者が当日用意するもの】 筆記用具
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
【参考書】 ・物語 ウクライナの歴史(黒川祐次／中央公論新社／¥946／ISBN=9784121016553) ・講義 ウクライナの歴史(黛秋津／山川出版社／¥2,200／ISBN=97846434152359)
【その他(特記事項)】